

シリーズ「脳卒中が怖い理由」

(その4)「脳卒中のリハビリって？」

(1) リハビリにかかわる人たち

●理学療法士(PT)

マヒした手足などのからだの機能の回復に必要な訓練や、座ったり立ったり歩いたり、車いすの操作をするなどの訓練を行います。

●作業療法士(OT)

自分の身のまわりのことや、家事や仕事に必要な作業など、日常生活での作業ができるように訓練します。

●言語聴覚士(ST)

言葉が話せないとか、ものの名前がわからないなどといった症状が出たとき、コミュニケーションをとれるように訓練します。

●ソーシャルワーカー

患者さんと家族の、今後の方針などについて、社会的なこと、経済的なことなども含めて相談にのります。

●管理栄養士

食生活の指導を行います。

このような人たちがリハビリを支えてくれます。

でも何よりも大事なのは、本人のやる気です！

(2) 家族が考えなければならないこと

退院後の患者さんを受け入れるにあたって、家庭で注意すべきことを挙げます。

なんでもやってあげるのではなく、今まで自分でやってきたことは自分でできるようになるよう、サポートすることが大切です。

●敷居の段差をなくす

●廊下やお風呂場、お手洗いなどに手すりをつける

●マヒなどがあっても使いやすい道具や食器を揃える